

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 17

(会社名・団体名等) **NPO法人SCR**

連絡先等	(住 所) 〒981-3341 宮城県富谷市成田7丁目23-21 (担当部署等) 代表 村上 幸枝 (電話番号等) TEL : 022-351-5405 (FAX 兼用) (URL) http://scrscr2012.wixsite.com/scr2012 (Facebook も有り)	
取組の名称	「山の日記念『山のがっこう』と 「間伐材でつくろう！10000個積み木リレー」	
取組の概要	1) 山の日記念『山のがっこう』 平成28年に施行された「山の日」をきっかけに、地域の森林や林業を学ぶ会を地域の小学生とその親などを対象に毎年8月11日に開催している。 2) 間伐材でつくろう！10000個積み木リレー (H29年度) 宮城県産のスギ間伐材を小さなブロック状に加工したものをイベントに参加した保育園児等が紙やすりでみがいて、無塗装で手磨きの積み木を作って遊ぶ木育イベントを平成29年に開催した。	
取組のきっかけ	NPO 法人 SCR は代表の村上幸枝さんを中心に地域の女性を構成員とした団体で、女性ならではの視点と企画力や行動力で地域の人々との交流や催しを通じて心と体の健康を育む活動を行っており、特に近年は、宮城県産の間伐材を使用した『木工教室』や自然にふれあい自然を育てる森林活動、自然の中でのイベント等を通して『木育』活動を盛んに行なっている。 その活動のなかで、地元の保育園から積み木を作って欲しいとの要望があり、せっかくなら多くの方にも協力、共感してもらおうと「積み木10,000個リレー」がスタートした。 また、「山のがっこう」では、年に一度、地域の方々と共に山に感謝する機会を作りたいとの発想から、SCR が森林活動の拠点にしている富谷市の「大亀山森林公園」において、森林・林業の勉強や園内にあるスギ林での間伐作業の実施などに取り組むこととなった。	
取組内容・特徴	・「山のがっこう」では、身近な森林の持つ公益的機能や林業について学習を行った後に、園内のスギ人工林でSCRの女性メンバーが行う間伐作業や伐採した木を馬で搬出する作業を見学した。間伐が終わった林地において、参加した小学生が枝葉をかたづける作業を行った。また、ツリークライミングも行い、森で遊ぶ楽しさを体感した。 ・「積み木10,000個リレー」では、保育園児には難しいと思われた紙やすりでの手磨作業も少しの指導で園児達は楽しく作業をすすめられ、愛着を持って積み木と遊ぶことができた。H30年度は、この積み木を多くの子供たちに触れていただき、木の良さを知ってもらおう木育活動として「積み木会員」を募り、積み木を貸し出している。	
実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む)	「山のがっこう」内での間伐作業は安全教育を受けたSCRのメンバーが実践している。 間伐作業と馬搬の作業は安全な場所での見学を実施している。 また、伐採作業の指導と木工教室用の間伐材の提供は地元の黒川森林組合が行っている。また、林業や間伐の説明は、宮城県の林業改良普及員からも協力を得ている。	
実績	除間伐実績	「山のがっこう」において、毎回スギの立木を10本程度、SCRの女性メンバーが伐採している。
	環境教育	・平成28年から開始した「山の学校」では、毎回地域の小学生とその親など40名程度の出席があり、今年までに150名程度の親子に森林・林業の大切さを伝えた。 ・「積み木10,000個リレー」では仙台市や富谷市近郊の保育園、幼稚園、児童館など25施設に積み木を提供し、各施設では毎回40～300名程度の規模で実施したので、総勢2,000名以上の園児や小学生などに木育活動を行った。
取組による効果等	地域の女性陣で結成したSCRは、地域の住民にも親しみやすく、活動内容も多く含まれているため、毎回多くの参加者があると共にリピーターも増え、継続的な環境教育や「木育」活動等が進んでいる。 また、活動を通じ、地元の森林に理解を深め、それぞれの立場で森林・林業やSCRの活動を応援していくネットワークも拡大し、地域住民と地元の森林・林業との距離を縮めている。	

間伐実践・環境教育部門

製品等の写真、図表



2018 山のがっこう



間伐材でつくろう！10000 個つみ木リレー